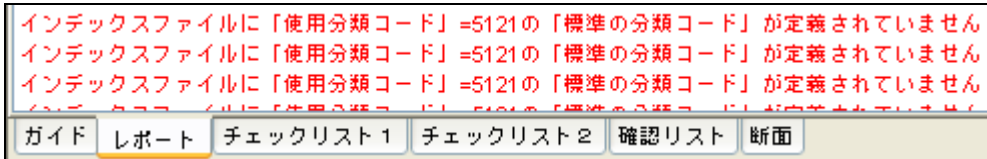


拡張 DM エディタ バージョン 7.0.11 更新記録

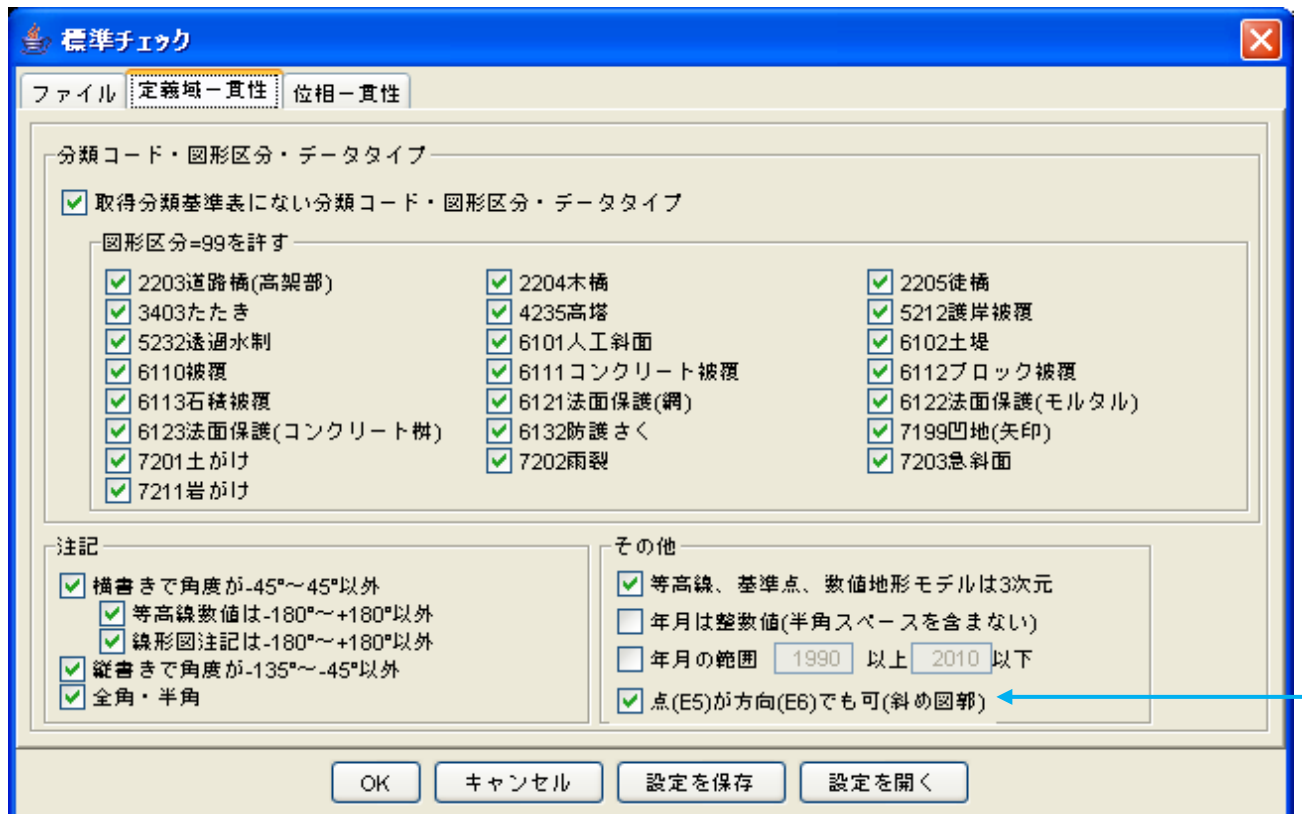
2013/02/13
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 標準チェック

メニュー「チェック」の「標準チェック」をで、指定されたインデックスファイルについて、「使用分類コード」に対応する「標準の分類コード」の定義がない場合、レポートするようにしました。



「定義域一貫性」の「その他」に「点(E5)が方向(E6)でも可(斜め図郭)」を追加しました。



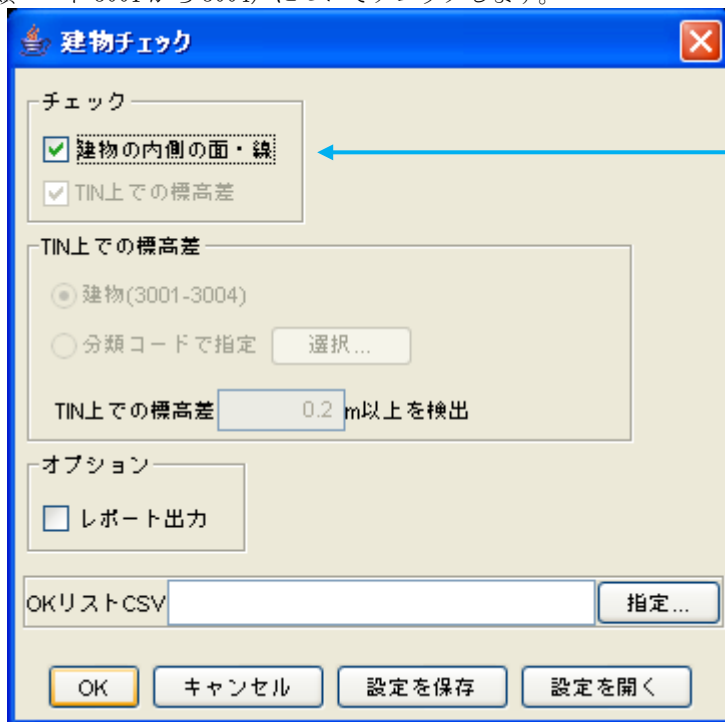
点(E5)が方向(E6)でも可(斜め図郭)

このオプションを ON にすると、点(E5)の代わりに方向(E6)で作成されているケースについてエラーとしません。DMデータファイルが斜め図郭の場合に ON にします。

2. 建物チェック

メニュー「チェック」の「建物チェック」に「建物の内側の面・線」を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

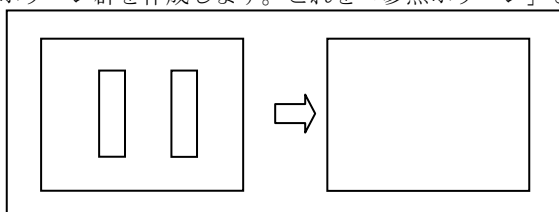
建物（分類コード 3001 から 3004）についてチェックします。



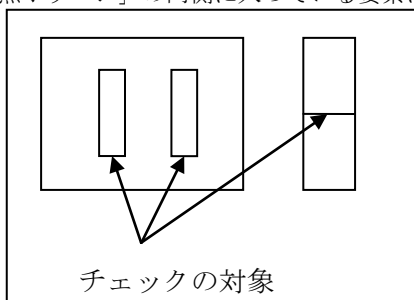
「建物の内側の面・線」

建物のポリゴンの内側にある面 (E1) ・ 線 (E2) の図形区分は 31(中庭線) などになっているかをチェックします。以下の処理を行います。

- ① 開いている DM データの分類コード=3001, 3002, 3003, 3004 の面 (E1) と線 (E2) から閉じたポリゴンになっている部分を抽出します。隣接している図郭でも、両方の要素を合わせてポリゴンにします。
- ② ポリゴンになる部分のうち、他のポリゴンの中に入っているポリゴンを除外します。つまり、建物の外周のみを残したポリゴン群を作成します。これを「参照ポリゴン」とします。



- ③ 開いている DM データの分類コード=3001, 3002, 3003, 3004 の面 (E1) と線 (E2) について、最初の線分の中点について、「参照ポリゴン」の内側に入っている要素についてしらべます。

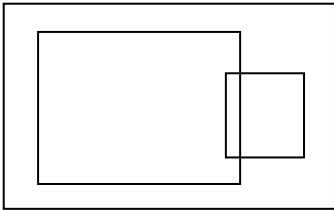


- ④ 「参照ポリゴン」の内側の面・線の図形区分が以下の値以外の場合、チェックリストにリストアップします。
31: 中庭線
32: 棟割線

33: 階層線
99: 外付階段 (階段線)

<table border="1"><tr><td colspan="2">表示項目と項目数</td></tr><tr><td><input checked="" type="radio"/> すべて</td><td>7</td></tr><tr><td><input type="radio"/> OK以外</td><td>7</td></tr><tr><td><input type="radio"/> OKのみ</td><td>0</td></tr></table> <p>OK</p> <p>OKリストCSV保存 全削除</p>	表示項目と項目数		<input checked="" type="radio"/> すべて	7	<input type="radio"/> OK以外	7	<input type="radio"/> OKのみ	0	<ul style="list-style-type: none">(1)建物のポリゴンの内側の要素 分類コード=3001 図形区分=0(2)建物のポリゴンの内側の要素 分類コード=3001 図形区分=0(3)建物のポリゴンの内側の要素 分類コード=3001 図形区分=0(4)建物のポリゴンの内側の要素 分類コード=3001 図形区分=0(5)建物のポリゴンの内側の要素 分類コード=3001 図形区分=0(6)建物のポリゴンの内側の要素 分類コード=3003 図形区分=0(7)建物のポリゴンの内側の要素 分類コード=3003 図形区分=0
表示項目と項目数									
<input checked="" type="radio"/> すべて	7								
<input type="radio"/> OK以外	7								
<input type="radio"/> OKのみ	0								
ガイド レポート チェックリスト1 チェックリスト2 確認リスト 断面									

隣接する建物の一部が重複している場合、上記の処理で検出されるケースがあります。



このようなケースはメニュー「ポリゴンの重複チェック」で検出してください。